

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

I. 研修プログラムの概要・特徴

一般臨床医として基本的な耳鼻咽喉科・頭頸部疾患に対処しうる基本的な知識と技術の習得を目指す。当科での研修期間は最低4週間（1ヶ月）であり、最長11ヶ月までの研修が可能である。

- (1) 研修の最初の1～3ヶ月間に研修目標「基本的な頭頸部診察法の習得」に加え、気管切開術を含む上気道管理の基本手技習得を目指す。
- (2) 5ヶ月では耳鼻咽喉科的処置についての修得、気管切開以外の手術についても指導医のもと執刀を行う。
- (3) 8ヶ月以上では下記項目すべてについての知識・技術の習得を目指す。

II. 研修の目標

1、医療面接

適切な問診が出来、問診の結果から疾患群の想定ができる。鑑別に要する検査法の体系化ができる。患者に適切な説明ができる。

2、基本的な頭頸部診察法の習得

耳鏡、前鼻鏡、後鼻鏡、間接喉頭鏡などを用いて外耳道、鼓膜、鼻腔、口腔、咽頭、喉頭の観察ができ、適切に所見を記載できる。また頸部視・触診ができ所見を記載できる。特に甲状腺疾患、リンパ節腫脹の性状を把握できる。

3、基本的な臨床検査

【自ら行え、適切に結果を解釈できるもの】

純音聴力検査、SISI検査、ティンパノメトリー、平衡機能検査、顔面神経機能検査（麻痺スコア、誘発筋電図、アブミ骨筋反射、味覚検査）、鼻汁細胞診、喉頭内視鏡検査（軟性）

【適切に結果を解釈できるもの】

単純X線検査（耳、鼻）、CT、MRI、X線咽頭食道透視検査、頸部超音波検査等

4、鑑別診断

次の症状に対して適切な鑑別診断ができる。

【耳領域】耳痛、耳漏、難聴、耳閉感、耳鳴、めまい、脳神経障害

【鼻・副鼻腔領域】鼻閉、鼻漏、くしゃみ、鼻出血、嗅覚障害、
眼球運動障害・視力障害

【口腔・咽頭領域】口内乾燥感、味覚障害、舌運動障害、唾液腺腫脹、
口腔・咽頭の腫脹、嚥下痛、咽頭痛、咽頭異物感、
構音障害、いびき、呼吸障害

【喉頭領域】音声障害、嚥下障害、喘鳴、呼吸障害

【気管・食道領域】咳、喀痰、吐血

【顎顔面領域】開口障害、顎関節痛、顔面痛、顔面の運動・知覚障害、
顔面神経麻痺、頬部腫脹

【頭頸部領域】頸部腫脹・腫瘤、頸部痛

5、基本的な疾患の病態の理解と対処

a. 次の疾患の病態を理解し、適切な対処ができる。

【耳領域】外耳道炎、外耳道真菌症、急性中耳炎、慢性化膿性中耳炎、
真珠腫性中耳炎、良性発作性頭位性めまい症、

老人性難聴、顔面神経麻痺、突発性難聴、聴神経腫瘍、先天性難聴

【鼻・副鼻腔領域】鼻腔異物、急性鼻炎、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、

アレルギー性鼻炎、副鼻腔腫瘍（良生、悪性）

【口腔・咽頭領域】咽頭異物、口内炎、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石、急性咽頭炎、慢性咽頭炎、睡眠時無呼吸症候群、急性扁桃炎、慢性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、口腔・咽頭・唾液腺腫瘍（良性・悪性）

【喉頭領域】急性喉頭炎、急性喉頭蓋炎、声帯結節、声帯ポリープ、ポリープ様声帯、反回神経麻痺、咽喉頭異常感症、喉頭悪性腫瘍

【気管・気管支・食道領域】気管・気管支炎、気管支異物、食道異物、食道憩室、ラリンゴマラシア

【顎・顔領域】顔面外傷・骨折、鼻骨骨折、眼窩吹き抜け骨折

【頭頸部領域】頸部リンパ節炎、頸部のう胞性疾患、甲状腺腫瘍（良生、悪性）
悪性腫瘍頸部リンパ節転移

b. 患者に対して、疾患・病態について説明ができ、必要に応じた適切な処置・検査、専門医への紹介ができる。

6、救急への対応

次のような症状に対して、外来で可能な救急処置が出来る。

出血、外傷、異物、めまい

7、入院患者を受け持ち

指導医と共に入院患者を受け持ち、検査、診断、手術、術後処置を経験する。

上気道の管理：気管切開術、気管カニューレ交換の手技、気管切開口の管理を習得する。

8、処置

研修期間に応じて次のような処置を修得する。

点耳、耳浴、外耳道塗布、耳垢塞栓除去、点鼻、キーゼルバッハ部位の止血処置、鼻腔吸引（鼻鏡使用）、鼻洗浄、鼻ネブライザー、口腔・咽頭異物除去、口腔塗布、口腔内のう胞穿刺、気管カニューレ交換、気管内吸引、人工鼻の管理、経鼻胃管挿入、術後創処置

9、手術

研修期間に応じて次のような手術手技を修得する。

【耳領域】限外耳道異物除去、鼓膜切開、鼓膜換気チューブ挿入

【鼻・副鼻腔領域】鼻茸切除、試験的上顎洞開窓術、鼻前庭のう胞摘出、鼻骨骨折整復

【口腔・咽頭領域】歯肉膿瘍切開術、舌小帯短縮切除術、良性腫瘍摘出（表在性のもの）、がま腫開窓術、顎関節脱臼整復術、口蓋扁桃摘出術、扁桃周囲膿瘍切開術、咽頭異物摘出（簡単なもの）

【気管・気管支・食道領域】気管切開術、気管切開口閉鎖術

【顎・顔領域】創傷処理、皮膚切開術、鼻骨骨折整復固定術

【頭頸部領域】頸部リンパ節摘出、頸部膿瘍切開術

III. 週間スケジュール

月曜日 午前：フィルムカンファレンス、外来診療

午後：教授回診、医局会（症例検討会等）

火曜日 手術、病棟診察・治療

水曜日 午前：放射線科合同カンファレンス、外来診療

午後：専門外来、病棟診察・治療

木曜日 手術、病棟診察・治療

金曜日 午前：術後回診、外来診療

午後：専門外来、手術、病棟診察・治療

IV. 研修実施責任者

耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 折田頼尚

V. 指導医

折田頼尚（科長、総括責任者）：日本耳鼻咽喉科学会専門医、
頭頸部がん指導医、頭頸部がん専門医、
日本内分泌甲状腺外科専門医

村上大造（講師）：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本がん治療認定医、頭頸部がん専門医

宮丸 悟（講師）：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本がん治療認定医、頭頸部がん専門医

伊勢桃子（助教）：日本耳鼻咽喉科学会専門医

西本康兵（助教）：日本耳鼻咽喉科学会専門医